

# 事業報告

自平成 25 年 4 月 1 日

至平成 26 年 3 月 31 日

## 1. 総括的概要

昨年、金融の量的緩和を含めた、いわゆる『アベノミクス』と呼ばれる安倍政権の一連の景気浮揚策がようやく効果を表し始め、日本経済は好調な兆しを見せていると報道されてきました。しかし我々地方の商工業者においては、まだまだ景気回復の実感は乏しく依然として厳しい経済状況が続いております。この様な経済環境にある中で、我々商工会青年部は地域振興事業を軸とした活動を展開して参りました。

まず主管事業であるみさわ七夕祭りでは、悪天候にも関わらず多くのお客様にご来場頂きました。イベント会場では様々なイベントを開催しましたが、中でも 3 日目の 3on3 では青森県初のプロバスケットボールチーム「青森ワッツ」を招き、小学生の子供たちと触れ合うキッズイベントを開催しました。残念ながら悪天候の為に本戦の 3on3 トーナメントは中止となりましたが、それでもご来場頂いたお客様に何か出来ないかと部員達はその場で考え、機材を手配し、急遽カラオケ大会を行いました。この経験は青年部員同士の連携の良さを実感できたとともに、今後のイベント運営に対しての課題を発見した出来事となりました。

クリスマスフェスティバルでは、皆様から善意を募り、市内の幼児施設を回り子供達へ多くのプレゼントを贈ることができました。そして、飾り付け事業では商店街内のポケットパークに「温もりのある飾り」をテーマに木製の飾りを新たに設置し、町のクリスマスムードにささやかながら花を添える事が出来ました。

その他に 3 つの委員会を以て各事業に取り組んで参りました。地域密着委員会では、近隣の団体のイベント支援事業を行いました。また、初の試みとして青年部主催のカップリングパーティーを開催いたしました。他の団体が行っているカップリングパーティーと差別化を図る為に少人数でのイベントを開催した結果、参加者からは好評を頂くことが出来たので今後も継続事業として取り組みたいと思っております。

部員拡大・研修委員会では、全部員が参加出来る形の七夕まつり反省会を開催いたしました。これまでは十名ほどの実行委員のみでの反省会でしたが、それに比べより多くの忌憚ない意見を集める事ができたので次年度の 60 周年の七夕まつりに向けて有意義な会議にする事が出来ました。

総務委員会におきましては、総会、青年部ホームページの更新・作成、部室管理など青年部組織の円滑な運営に取り組んで参りました。

平成 25 年度の活動を振り返ると、様々な新規事業に取り組んだ 1 年でした。商工会青年部の基本理念である「地域の先兵たれ」を実践することが出来たのではないかと考えております。

最後に、商工会青年部がこのような様々な事業を実施することが出来たのは三沢市・三沢市商工会そして各関係諸団体の皆様からのご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。事業報告と致します。

平成 25 年度 三沢市商工会青年部  
部長 玉川 大輔